



29農経第414号

平成29年7月25日

一般社団法人日本建築学会東海支部

支部長 鈴木賢一様

愛知県知事 大村秀章



「愛知県立農業大学校追進館（旧追進農場追進館）の保存活用に関する
要望書」について（回答）

平成29年5月30日付けでご要望いただいた愛知県立農業大学校追進館の保存活用の
御意見への回答につきましては、別紙のとおりです。

担当 農林水産部農業経営課教育グループ（小木曾）

電話 052-954-6409（ダイヤルイン）

(別紙)

「愛知県立農業大学校追進館（旧追進農場追進館）の保存活用に関する要望書」につきましては、追進館についての深いご理解のもと、歴史的背景や建築史的な評価など貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

追進館は昭和 10 年に建築されました建物で、近年、経年劣化が極めて著しい中、平成 27 年度に「農業大学校追進館耐震改修基本調査」を実施するとともに、学識経験者や岡崎市教育委員会等を構成員とする「追進館活用方法等検討会」を設置して、活用方法を始めとする保存活用方策を検討してまいりました。

しかしながら、平成 20 年度以降、追進館の活用を取り止めていた中で、既に講堂や教室など他の代替施設が整備され、「農業後継者及び農業の担い手等に対し農業に関する教育及び研修を行い、本県農業の振興に寄与する」という農業大学校の設置目的に沿った新たな活用方策を見出すには至りませんでした。

一方、基本調査において耐震強度不足が懸念される結果が示され、農業大学校は、学生のみでなく研修や会議等で多くの方が来校され、地域の方々も気軽に訪れる場所であることから、危険性を除去し安全を確保するため、追進館の取壊しを決定し、平成 29 年度当初予算で関連予算を計上して、平成 29 年 2 月県議会において議決をいただいたところであります。

また、岡崎市役所、地区住民及び農業大学校同窓会の方々などにも取壊し方針をご説明させていただき、ご理解をいただいております。

追進館は、大正から昭和初期に流行したアールデコのデザインを取り入れ、木造による大架構建築としての工夫が施され、今回の要望書にもお示しいただいているとおり歴史的及び文化的にも評価される建物であると認識しております。

追進館の価値、並びに「追進館」の名称にもありますように、「常に時代の先端となることを目指し、先なる者に迫り、前進すべし」という「追進」の精神を後世に伝えるため、取壊しに際しては建物の記録保存に努めますとともに、天井に描かれた「鳳凰」の装飾板など一部は残し、別途作製する予定であります建物のミニチュアとともに、農業大学校中央教育棟エントランスホールで常設展示をする計画であります。

何卒、こうした事情をご参酌のうえ、本回答にご理解を賜りますようお願い申し上げます。